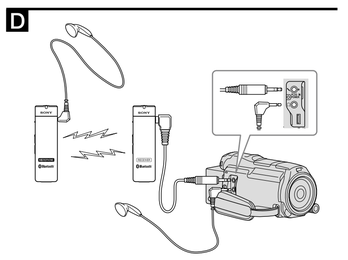
SONY

4-533-246-**02**(1)

ワイヤレスマイクロホン
Wireless Microphone
Microphone sans fil
无线麦克风

取扱説明書 / Operating Instructions / Mode d'emploi / Manual de instrucciones / 使用说明书



Bluetooth®

©2014 Sony Corporation
Printed in China

http://www.sony.net/

453324602

ECM-AW4

日本語

⚠警告 安全のために

ソニー製品は安全に充分配慮して設計されています。しかし、電気製品はすべて、まちがった使いかたをすると、火災などにより人身事故になることがあり危険です。事故を防ぐために次のことを必ずお守りください。

- **安全のための注意事項を守る**

この「安全のために」の注意事項をよくお読みください。

- **故障したら使わない**

動作がおかしくなったり、破損しているのに気づいたら、すぐにソニーの相談窓口へご相談ください。

- **万一、異常が起きたら**

安全音・においがしたら、煙が出たら。 → **①電源を切る ②電池および接続ケーブルをはずす ③ソニーの相談窓口に相談する**

警告表示の意味

取扱説明書および製品では、次のような表示をしています。表示の内容をよく理解してから本文をお読みください。

⚠警告 **この表示の注意事項を守らないと、火災・感電などにより死亡や大けがなど人身事故の原因となります。**

⚠注意 **この表示の注意事項を守らないと、感電やその他の事故によりけがをしたり周辺の家財に損害を与えたりすることがあります。**

注意を促す記号		行為を禁止する記号		行為を指示する記号
火災	感電	禁止	分解禁止	指示

⚠警告 火災 感電 **下記の注意事項を守らないと、火災・感電により死亡や大けがの原因となります。**

内部に水や異物を入れない
水や異物が入ると火災や感電の原因となります。万一、水や異物が入ったときは、すぐにスイッチを切り、ソニーの相談窓口へご相談ください。

分解や改造をしない
火災や感電の原因となります。危険ですので、絶対に自分で分解しないでください。内部の点検や修理はソニーの相談窓口へご相談ください。

心臓ペースメーカーの装着部から22cm以上離して使用する
電波によりペースメーカーの動作に影響を与えるおそれがあります。

病院などの医療機関内、医療用電気機器の近くでは本機を使用しない
電波が影響を及ぼし、誤動作による事故の原因となるおそれがあります。

航空機内では本機を使用しない
電波が影響を及ぼし、誤動作による事故の原因となるおそれがあります。

本機を使用中に他の機器に電波障害などが発生した場合は、本機を使用しない
電波が影響を及ぼし、誤動作による事故の原因となるおそれがあります。

運転中は使用しない
- 自動車、オートバイなどの運転をしながらヘッドホンやイヤホンなどを使用したり、細かい操作をすることは絶対におやめください。交通事故の原因となります。
- また、歩きながら使用するときも、事故を防ぐため、周囲の交通や路面状況に充分にご注意ください。

⚠注意 **下記の注意事項を守らないと、けがをしたり周辺の家財に損害を与えることがあります。**

大音量で長時間続けて聞きすぎない
耳を刺激するような大きな音量で長時間つづけて聞くと、聴力に悪い影響を与えることがあります。とくにヘッドホンやイヤホンで聞くときにご注意ください。周囲への音漏れにも注意し、呼びかけられて返事ができるくらいの音量で聞きましょう。

湿気やほこり、油煙、湯気の多い場所や直射日光のあたる場所には置かない
故障の原因となります。

落としたりぶつけたりしない
故障の原因となります。

ぬれた手で本機や電池をさわらない
感電の原因となることがあります。

電池の挿入口や端子などから、内部に金属類や燃えやすい物などの異物を差し込んだり、落とし込んだりしない
火災・感電の原因となります。

⚠危険 **電池についての安全上のご注意とお願い**
漏液、発熱、発火、破裂などを起こすため、下記のことを必ず守ってください。

⚠危険
- **火のそばや炎天下、高温になった車の中などに放置しないでください。**
- **次のそれぞれ別々にしてください。ショートさせたら、分解、加熱しないでください。**
- **火のそばや炎天下、高温になった車の中などに放置しないでください。**

⚠警告
- **乾電池は充電しないでください。**
- **指定されている種類の電池を使用してください。**
- **金属に触れ、⊕、⊖がショートすると発熱、発火する危険があります。**

⚠注意
- **⊕と⊖の向きを正しく入れてください。**
- **電池を使い切ったとき、長期間使用しないときは、取り出しておいてください。**
- **電池の種類と本来の電池寿命期日時や乾いた布などで汚れを拭き取ってください。電池や電池端子部に皮脂などの汚れがあると、動作時間が極端に短くなることがあります。**

もし電池の液が漏れたときは、電池ケースの内部に液をよくふきとってから、新しい電池を入れてください。万一、液が身体や衣服についたときは、水でよく洗い流してください。

主な特長

- 本機は、マイクロ入力端子を搭載したビデオカメラやICレコーダーなどの録音機器に接続して、遠く離れた場所の音声をモノラルで明瞭に記録することができるワイヤレスマイクロホンです。
- ビデオカメラやICレコーダーなどの録音機器に接続するレシーバーと、マイクロホンやトランスミッター(以下、マイクロホンとする)のそれぞれにマイクユニットとイヤホン端子を装備しています。
- マイクロホン側のイヤホン端子に音が入力されてもマイクロホンに接続したイヤホンと、レシーバーに接続した録音機器のヘッドホン端子に接続したイヤホンで、お互いの周辺の音声を確認し、会話をすることが可能です。

また、マイクロホン側の音声を録音機器に記録することもできます。(レシーバー側の録音機器に記録されません。また、レシーバーを接続している録音機器にヘッドホン端子やイヤホン端子がない場合は、会話をしながらの録音はできません。)

- 本機は、マイクロホンとレシーバーをそれぞれのイヤホン端子に直接接続したイヤホンでお互いの周辺の音声を確認しあうトランシーバーとしても使用できます。
- 本機は、Bluetooth無線通信技術を使用しています。

Bluetooth® 無線通信技術について

- Bluetooth無線通信技術とは、パソコンやその周辺機器、スマートフォンなど、さまざまな機器同士を無線で接続し、相互の通信を可能にする技術の名称です。
- 本機は製造時にレシーバーとマイクロホンのペアで通信できるように設定しています。そのため一般のBluetooth機器で必要なペアリングやパスキーの入力操作は必要ありませんが、ペアで販売されている以外のレシーバーとマイクロホンの組み合わせや、複数のマイクロホン、一般のBluetooth機能を搭載しているパソコン、スマートフォンなどとは通信できません。

ご注意
- 本機は以下の状況において通信感度に影響を受けることがあります。
  - レシーバー前部とマイクロホンの間に人体や金属、壁または反射面などの障害物がある場合
  - 無線LANが構築されている場所、複数のBluetooth機器を近距離で使用している場所、電子レンジを使用中の周辺、その他電波が発生している場所など
- マイクロホンを カメラに近づけすぎると、電波の影響で、記録される音声にノイズが入る場合があります。1mほど離した状態でご使用ください。
- 通信状態が悪化して音声が途絶えたり、ノイズが発生する場合、レシーバーのランプが早い青点滅をします。距離が遠くか、障害物がないかなど確認し、ランプが安定して青点灯している状態でご使用ください。

取り扱上のご注意

- 水の入った物や花瓶などを本機の上に載せないでください。故障の原因になります。
- マイクロホンの機器脱着はクリップの下にあります。
- 本機は精密機器です。落としたり、たたいたり、強い衝撃を与えないでください。
- 高温多湿の場所での使用、保存は避けてください。
- 屋外使用するときは、雨や海水にぬれないようにしてください。
- 無線通信機器については認証を受けた国、地域でしか使用できません。
- 使用中、イヤホンをマイクに近づけると「ピー」というノイズが発生することがあります(ハウリング現象)。その場合は、イヤホンとマイクの距離をできるだけ離すか、イヤホンの音量を下げてください。
- マイクロホンの電源が入っている状態で、レシーバーとマイクロホンが接続状態でないときに録音を開始すると、無音になったり、「ピー」というノイズが記録される場合があります。レシーバーとマイクロホン両方のランプが青色で点灯し、接続状態になっていることを必ず確認して、録音を開始してください。
- 使用中にマイクロホンに触れると、ノイズとして録音されてしまいます。手などが触れないようにご注意ください。
- 温度の低い場所でマイクロホンをご使用になる場合は、常温時(25℃)に比べて電池の性能が低下しますので、使用できる時間が短くなります。

電波を発出し状態にしない
- 飛行機の離着陸時など、電波の発信が禁止されている状況では、本機の電源をOFFにしてください。

機器認証について
本機は、電波法に基づく小電力データ通信システムの無線局の無線設備として、認証を受けています。従って、本機を使用するときに無線局の免許は必要ありません。
ただし、以下の事項をすると法律で罰せられることがあります。
- 本機を分解／改造すること
- 本機に貼ってある認明ラベルをはがすこと

本機は国内専用です。海外では使用しないでください。海外では国によって電波使用制限があるため、本機を使用した場合罰せられることがあります。

商標について
- Bluetoothトレードマークは、商標権利者が所有しており、ソニーはライセンスに基づき使用しています。
- その他、この取扱説明書に記載されているシステム名、製品名、サービス名は、一般に各開発メーカーの登録商標あるいは商標です。なお、本文中には™、®マークはすべてについては明記していません。

周波数について
本機は2.4GHz帯の2.400GHz から2.4835GHz まで使用していますが、他の無線機器も同じ周波数を使っていることがあります。他の無線機器との電波干渉を防止するため、下記事項に注意してご使用ください。

使用上のご注意
本機の使用周波数は2.4GHz帯です。この周波数帯では電子レンジなどの産業・科学・医療用機器のほか、他の同種無線局、工場の製造ラインなどで使用される免許を要する移動体識別用構内無線局、免許を要しない特定の小電力無線局、アマチュア無線局など(以下「他の無線局」と略す)が運用されています。
1. **本機を使用する前に、近くで「他の無線局」が運用されていないことを確認してください。**
2. **万一、本機と「他の無線局」との間に電波干渉が発生した場合には、速やかに本機の使用場所を変えるか、または本機の運用を停止(電波の発射を停止)してください。**
3. **その他、この機器から「他の無線局」に対して有害な電波干渉の実例が発生した場合など何かお困りのことが起きたときは、ソニーの相談窓口へお問い合わせください。**

2.4FH5 この無線機器は2.4GHz帯を使用します。変調方式としてFH-SS変調方式を採用し、与干渉距離は50m以下です。

A 各部の名称 (イラスト A 参照)

マイクロホン(A-①)*
レシーバー(A-②)*
* 部のようにマイクロホンには[MICROPHONE]、レシーバーには[RECEIVER]と表示されています。

マイクロホン／レシーバー共通

1 **電源スイッチ**
電池の消耗を防ぐために、使用しないときは電源スイッチを切ってください。

2 **イヤホン端子**
レシーバーのイヤホン端子にイヤホンを接続することにより、マイクロホンで収音している音声が確認できます。
また、マイクロホンのイヤホン端子にイヤホンを接続することにより、レシーバーで収音している音声が確認できます。
レシーバーのイヤホン端子とビデオカメラやICレコーダーなどの録音機器を付属の録音ケーブルで接続することにより、マイクロホンで収音している音声を録音機器に録音することができます。

3 **ランプ**
機器や通信の状態によって、ランプは以下のように点灯・点滅・消灯します。

状態	レシーバー	マイクロホン
レシーバーと、マイクロホンの電源スイッチをONにした直後	青色で遅い点滅(待ち受け状態)	
接続状態になり、音声が明瞭に記録できる	青色で点灯	
レシーバーの電源スイッチをOFFにする	消灯	青色で遅い点滅(待ち受け状態)
マイクロホンの電源スイッチをOFFにする	青色で遅い点滅(待ち受け状態)	消灯
通信状態が悪く音声が途切れるとき	青色で早い点滅	
電池が残り少なくなったとき	赤色で点滅 早めに電池を新しいものと取り換えてください。	

4 **内蔵マイク**
5 **外部マイク端子**
6 **ストラップ取り付け部**
ネックストラップなど(同梱していません)を取り付けられます。
必要に応じてご使用ください。
7 **音量+/−ボタン**
8 **電池ふた**
9 **クリップ**
衣服、付属のアームバンド、ビデオカメラのグリップ/ベルトなどに取り付けるときに使用します。
クリップをたにして、マイクロホン/レシーバーを机のようなものに置くこともできます。
10 **ウインドスクリーン**
マイクロホンにかぶせて使用することにより、強い風や息が直接あたることに発生する「ボコボコ」という雑音を減らします。

B 電池の入れかた

電池(別売)をご用意ください。
電池は単4形アルカリ乾電池または単4形ニッケル水素充電池本をご使用ください。
ソニー製電池の使用をおすすめします。他の電池では、本機の性能が充分に発揮できない場合があります。

1 **電池ふたの底面を押しながら①、ふたを持ち上げてはずす②。**
2 **電池をケースの表示に従って正しくしまう。**
3 **電池ふたの一端子側を最初に入れ、最後に＋端子側を閉じる。**

C 取り付けかた

衣服などに取り付ける
クリップで胸ポケットなどがおすすめの場所に取り付けください。
マイクロホンで収音している音声をレシーバーに接続したイヤホン、または録音ケーブルでレシーバーに接続した録音機器に接続したイヤホンで確認する(このあとの説明を参照)ならば、ポケットの中の状態に合わせて最適な位置に取り付けてください。

ご注意
ペースメーカーなど医療用電気機器を装着している場合は、胸ポケットや内ポケットへの装着、衣服への取り付けはしないでください。本機を医療用電気機器などの近くで使用すると、その動作に影響を与えるおそれがあります。

アームバンドを使う(イラスト C-①参照)
アームバンドにクリップで取り付け、腕に巻きつけてご使用ください。

イヤホンハンガーを使う(イラスト C-②参照)
お子様などが間のいたずらなどで使用の際、イヤホンがはずれやすい場合におすすめします。イラストのようにイヤホンハンガーにイヤホンを取り付けてください(イラスト C-②-1)。
アーム部分を耳にかけ、イヤホンが耳の穴のどこにくるように位置を調節してください。
(イラスト C-②-2はお耳に取り付けた状態です。)

ビデオカメラのグリップベルトに取り付ける(イラスト C-③参照)
レシーバーをビデオカメラに接続して使用する場合は、イラストのようにビデオカメラのグリップベルトなど、マイクロホンが見える位置にクリップで取り付けてください。

外部マイク(別売)を使う
マイクロホンの電源を切った状態で外部マイクを外部マイク端子につないでください。
内蔵マイクは自動的に切れ、外部マイクの音が録音されます。
プラグインパワー対応の外部マイクをご使用ください。外部マイクの電源は本機から供給されます。

D 使いかた

本機をマイクロホンとして使用する場合
レシーバーをビデオカメラやICレコーダーなどの録音機器に接続する際は、レシーバーと録音機器の電源スイッチが[OFF]の状態で行ってください。

1 **レシーバーのイヤホン端子と録音機器のマイク入力端子に付属の録音ケーブルを接続する。**
録音ケーブルの向きはどちらを接続しても、録音機器がモノラルの場合はモノラルで、ステレオの場合は左右に同じモノラルの音が録音されます。
2 **録音機器のスイッチを入れ、スタンバイ状態にする。**
3 **マイクロホンとレシーバーの電源スイッチをONにする。**
マイクロホンとレシーバーの電源を入れると、直後に両方のランプが青色で速い点滅をします。この状態で相手の機器を探索し、通信接続、認証を行っています。接続状態になり音声を明瞭に記録できる状態になると、両方のランプが青色で点灯します。
4 **レシーバーのランプが点灯していることを確認したうえで、録音機器の記録をスタートする。**

ご注意
- レシーバーと録音機器をつなぐケーブルは必ず付属の録音ケーブルを使用してください。付属の録音ケーブルには、イヤホン端子とマイクユ入力端子のレベルを調節するための抵抗器が内蔵されています。
  - 本機のイヤホン端子の音量レベルは、操作中に変更しても電源を切ると初期値に戻ります。初期値の音量レベルでの録音をおすすめします。
  - 音量+/−ボタンはイヤホン端子に直接つないだイヤホンの音量を調節するときにご使用ください。
  - 録音音量を変更したい場合は、録音機器で調整してください。また、録音機器に接続したイヤホンの音量を変更する場合でも、録音機器で音量調整を行ってください。レシーバーの音量+/−ボタンで音量を変更すると、記録される音量も変更されます。
  - 本機を使用してビデオカメラで撮影すると、録画スタート時に操作音(おしらせブザー)が記録される場合があります。お使いのビデオカメラの操作音(おしらせブザー)を切ってから録画することをおすすめします。詳しくは、お使いのビデオカメラの取扱説明書をご覧ください。

本機をトランシーバーとして使用する場合
1 **マイクロホンとレシーバーのイヤホン端子にそれぞれ別個のイヤホンを接続する。**
2 **マイクロホンとレシーバーの電源スイッチをONにする。**

ご注意
- マイクロホンの電源が入っている状態や、マイクロホンとレシーバーが接続状態でないときに録音を開始すると、無音になったり、「ピー」というノイズが記録される場合があります。マイクロホンとレシーバー両方のランプが青色で点灯し、接続状態になっていることを必ず確認して、録音を開始してください。
- レシーバーで収録した音声は録音されません。
- 音量+/−ボタンを短く押すと1段階レベルが変化し、押し続けると連続してレベルが変化します。録音中にマイクロホンの音量+/−ボタンを操作するとボタンを押すカチカチという音が録音されます。
- 録音しないときはレシーバーの電源をご未的に切ることをおすすめします。
- 本機の電源スイッチをOFFにしても、すぐにランプが消えたり、電源が切れたりしない場合があります。故障ではありません。
- 本機で無線通信される音声は、デジタル処理のため実際の音声よりほんの少し遅れて伝送されます。そのため、実際の音とイヤホンで聞く音がエコーのように聞こえたり、記録される映像とわずかにずれているように感じる場合がありますが、故障ではありません。
- 録音レベルは、録音機器で調節するか、録音からのマイクの音量で調節してください。
- 電池残量が少ない場合、ランプが不規則に点滅して通信できないことがありますが故障ではありません。新しい電池をご使用ください。
- 本製品の不具合により、録音ができなかった場合、録音内容の補償については容赦ください。

故障かな？と思ったら

□ **Bluetoothが接続できない。**
→ 本機は電源を使用しています。周囲に電波をさえぎるものがないかご確認ください。
→ マイクロホンとレシーバーを近づけてご使用ください。
→ マイクロホンは電池をご使用ください。

保証書とアフターサービス

保証書
- この製品には保証書が添付されていますので、お買い上げの際お買い上げ店でお受け取りください。
- 所定事項の記入および記載内容を確かめのうえ、大切に保存してください。
- 保証期間は、お買い上げ日より1年間です。

アフターサービス
調子が悪いときはまずチェックを
この取扱説明書をもう一度ご覧になってお調べください。

それでも異合の悪いときは
ソニーの相談窓口にご相談ください。

保証期間中は
保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。詳しくは保証書をご覧ください。

保証期間経過後の修理は
修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料修理させていただきます。

部品の保有期間について
当社ではワイヤレスマイクロホンの補修用性能部品(製品の機能を維持するために必要な部品)を、製造打ち切り後最低3年間保有していますので、この部品保有期間を修理用品の期間とさせていただきます。
ただし、故障の状況その他の事情により、修理に加えて製品交換をする場合がありますのでご了承ください。
ご相談になるときは、次のことをお知らせください。
- 型名：ECM-AW4 (マイクロホン単体　ECM-AW4 (T)、レシーバー単体　ECM-AW4 (R))
- 故障の状態：できるだけ詳しく
- 購入年月日

主な仕様

通信方式	Bluetooth標準規格 Ver.3.0
出力	Bluetooth標準規格 Power Class 1
主なBluetoothプロファイル	Advanced Audio Distribution Profile
通信距離*	最大　50 m
マイク方式	無指向性
電源	1.5V (単4形アルカリ乾電池**) 1本、 または1.2V (単4形ニッケル水素電池**) 1本
消費電力	約0.3 W
周波数特性	300 Hz～9,000 Hz (レシーバー)
連続使用時間	約3時間***
外形寸法 (約) (幅／高さ／奥行き)	19 mm × 66 mm × 30 mm
質量	約19 g (電池を含む)
使用温度	5 ℃～40 ℃
保存温度	−20 ℃～+60 ℃

* レシーバーの位置からマイクロホンが見えている時の目安となる距離です。
金属、人体などの障害物や反射面の有無など周囲の状況や電波状況により変化します。
** 電池は別売です。また、マンガン乾電池は使用できません。
*** ソニー製アルカリ乾電池で25 ℃で使用するとき
低温の場合、アルカリ乾電池は使用時間が短くなります。ニッケル水素充電池のご使用をおすすめします。

同梱物
マイクロホン(トランスミッター)(ECM-AW4 (T))(1)、レシーバー(ECM-AW4 (R))(1)、録音ケーブル(1)、ウインドスクリーン(1)、ポーチ(1)、アームバンド(1)、イヤホン(2)、イヤホンハンガー(1)、印刷物一式

仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがありますが、ご了承ください。

お願い

Ni-MH
ニッケル水素電池

ニッケル水素電池はリサイクルできます。不要になったニッケル水素電池は、金属部にセロハンテープなどの絶縁テープを貼ってリサイクル協力店へお持ちください。

充電式電池の回収・リサイクルおよびリサイクル協力店については
一般社団法人JBRCホームページ
http://www.jbrc.net/hp/contents/index.html
をご参照してください。

よくあるお問い合わせ、修口受付時間などはホームページをご活用ください。 **http://www.sony.jp/support/**

使い方相談窓口
フリーダイヤル…… 0120-333-020
携帯電話・PHS：一般の携帯電話・ 050-3754-9577

修理相談窓口
フリーダイヤル…… 0120-222-330
携帯電話・PHS：一般の携帯電話・ 050-3754-9599
※修理時間：ナビコン等の購入相談はこちらへお問い合わせください。

FAX (共通) 0120-333-369

左記番号へ接続後、最初のガイダンスが流れている間に、**「400」+「#」**を押してください。直接、担当窓口へおつなぎします。

ソニー株式会社 〒108-0075 東京都港区港南1-7-1

English

Before operating the unit, please read these instructions thoroughly, and retain them for future reference.

Precautions

- The nameplate is under the clip of the microphone.

WARNING

To reduce the risk of fire or electric shock,
1) do not expose the unit to rain or moisture.
2) do not place objects filled with liquids, such as vases, on the apparatus.

Do not expose the batteries to excessive heat such as sunshine, fire or the like.

CAUTION

Excessive sound pressure from earphones and headphones can cause hearing loss.

Replace the battery with the specified type only.
Otherwise, fire or injury may result.

Regulatory Information

Countries and regions
This product can be used in the country or region where purchased.
This device is approved for the country or region of intended use. Using this device with the affixed approval label removed may be punishable by law.

For Customers in the U.S.A. and Canada

CAUTION
You are cautioned that any changes or modifications not expressly approved in this manual could void your authority to operate this equipment.

Note:
This equipment has been tested and found to comply with the limits for a Class B digital device, pursuant to Part 15 of the FCC Rules. These limits are designed to provide reasonable protection against harmful interference in a residential installation. This equipment generates, uses, and can radiate radio frequency energy and, if not installed and used in accordance with the instructions, may cause harmful interference to radio communications. However, there is no guarantee that interference will not occur in a particular installation. If this equipment does cause harmful interference to radio or television reception, which can be determined by turning the equipment off and on, the user is encouraged to try to correct the interference by one or more of the following measures:
– Reorient or relocate the receiving antenna.
– Increase the separation between the equipment and receiver.
– Connect the equipment into an outlet on a circuit different from that to which the receiver is connected.
– Consult the dealer or an experienced radio/TV technician for help.

THIS DEVICE COMPLIES WITH PART 15 OF THE FCC RULES. OPERATION IS SUBJECT TO THE FOLLOWING TWO CONDITIONS: (1)THIS DEVICE MAY NOT CAUSE HARMFUL INTERFERENCE, AND (2)THIS DEVICE MUST ACCEPT ANY INTERFERENCE RECEIVED, INCLUDING INTERFERENCE THAT MAY CAUSE UNDESIRED OPERATION.
CAN ICES-3 B/NMB-3 B

IMPORTANT NOTE
To comply with FCC/IC RF exposure requirements, the following antenna installation and device operating configurations must be satisfied: the antenna has been installed by the manufacturer and no change can be made. This device and its antenna must not be co-located or operated in conjunction with any other antenna or transmitter.

This device complies with Part 15 of the FCC Rules and RSS-GEN of IC Rules. Operation is subject to the following two conditions :(1) This device may not cause harmful interference, and (2) this device must accept any interference received, including interference that may cause undesired operation.

This device complies with Industry Canada licence-exempt RSS standard(s). Operation is subject to the following two conditions: (1) this device may not cause interference, and (2) this device must accept any interference, including interference that may cause undesired operation of the device.

ECM-AW4 (T)-Microphone
The available scientific evidence does not show that any health problems are associated with using low power wireless devices. There is no proof, however, that these low power wireless devices are absolutely safe. Low power Wireless devices emit low levels of radio frequency energy (RF) in the microwave range while being used. Whereas high levels of RF can produce health effects (by heating tissue), exposure of low-level RF that does not produce heating effects causes no known adverse health effects. Many studies of low-level RF exposures have not found any biological effects. Some studies have suggested that some biological effects might occur, but such findings have not been confirmed by additional research. ECM-AW4 (T) has been tested and found to comply with FCC/IC radiation exposure limits set forth for an uncontrolled environment and meets the FCC radio frequency (RF) Exposure Guidelines and RSS-102 of the IC radio frequency (RF) Exposure rules.

ECM-AW4 (R)-Receiver
The available scientific evidence does not show that any health problems are associated with using low power wireless devices. There is no proof, however, that these low power wireless devices are absolutely safe. Low power Wireless devices emit low levels of radio frequency energy (RF) in the microwave range while being used. Whereas high levels of RF can produce health effects (by heating tissue), exposure of low-level RF that does not produce heating effects causes no known adverse health effects. Many studies of low-level RF exposures have not found any biological effects. Some studies have suggested that some biological effects might occur, but such findings have not been confirmed by additional research. ECM-AW4 (R) has been tested and found to comply with FCC/IC radiation exposure limits set forth for an uncontrolled environment and meets the FCC radio frequency (RF) Exposure Guidelines and RSS-102 of the IC radio frequency (RF) Exposure rules.

For Customers in Europe

Refer to the operating instructions.

Hereby, Sony Corporation, declares that this ECM-AW4 Wireless Microphone is in compliance with the essential requirements and other relevant provisions of Directive 1999/5/EC. For details, please access the following URL:
http://www.compliance.sony.de/

Disposal of Old Electrical & Electronic Equipment (Applicable in the European Union and other European countries with separate collection systems)
This symbol on the product or on its packaging indicates that this product shall not be treated as household waste. Instead it shall be handed over to the applicable collection point for the recycling of electrical and electronic equipment. By ensuring this product is disposed of correctly, you will help prevent potential negative consequences for the environment and human health, which could otherwise be caused by inappropriate waste handling of this product. The recycling of materials will help to conserve natural resources. For more detailed information about recycling of this product, please contact your local Civic Office, your household waste disposal service or the shop where you purchased the product.

< Notice for the customers in the countries applying EU Directives >
Manufacturer: Sony Corporation, 1-7-1 Konan Minato-ku Tokyo, 108-0075 Japan
For EU product compliance: Sony Deutschland GmbH, Hedelfinger Strasse 61, 70327 Stuttgart, Germany

Attention
The electromagnetic fields at the specific frequencies may influence the picture and sound of this unit.

This product has been tested and found compliant with the limits set out in the EMC regulation for using connection cables shorter than 3 meters.

If static electricity or electromagnetism causes data transfer to discontinue midway (fail), restart the application or disconnect and connect the communication cable (USB, etc.) again.

For Customers in Singapore

Complies with IDA Standards DB00353

Features

- This wireless microphone is designed for use with a recoding device such as camera or IC recorder with a microphone input jack for recording sound clearly in monaural even when the sound source is far from the recording device.
- Microphone units and earphone jacks are provided in both the microphone (transmitter, referred to below as "microphone") and the receiver connected to the recording device. When earphones are connected to both the microphone and the recording device, a person on the microphone side and another person on the receiver side can hear the other side's sound or voice even when far from each other. The sound picked up by the microphone can be recorded on the recording device. (Receiver sound cannot be recorded. If the recording device has no headphone or earphone jack, the person on the receiver side cannot hear the other side's voice during recording.)
- This wireless microphone can be used as a transceiver so that the sound at either end can be monitored from the other end through earphones directly connected to the earphone jacks of both the microphone and receiver.
- This wireless microphone uses the Bluetooth wireless communication technology.

Bluetooth® Wireless Communication Technology

- Bluetooth wireless communication technology allows communication between various Bluetooth devices without using cables. Devices that can use this technology include computers, computer peripheral devices and smartphones.
- The receiver and the microphone are factory-set to communicate with each other. Therefore, operations usually needed for Bluetooth devices such as pairing and passkey input are not necessary. Communication is not possible with a receiver and microphone not sold as a pair, multiple microphones, or any other Bluetooth device such as a smartphone, computer, etc.

Notes
- This wireless microphone may be affected under the following conditions.
  – When there are obstacles such as people, metallic objects, walls, or reflective surfaces between the front of the receiver and the microphone.
  – When used in a wireless LAN system environment, near multiple Bluetooth devices that are operating, near a working microwave oven, or where there are electromagnetic waves.
- If the microphone is placed in close proximity to the camera, RF interference or noise may also be recorded. Keep the microphone at least 1 m (3 ft.) from the camera to avoid this.
- If there is noise or there is no sound because of deteriorating communication, the lamp on the receiver blinks blue rapidly. Ensure that the distance between the devices is not too far, and no obstacles are between them. Continue use when the lamp is constantly lit blue.

Notes on Use

- Do not let any liquid or foreign objects get inside the casing.
- Do not disassemble or modify the wireless microphone.
- Do not use this wireless microphone in a medical Institution such as a hospital, near a medical electrical device, in an aircraft, or if radio interference with another device(s) occurs. RF energy emitted from this wireless microphone may interfere with other devices, resulting in an accident.
- This unit is a precision instrument. Do not drop, hit or apply excessive shock to it.
- Keep this unit away from high temperatures and humidity.
- When using this unit outside, be careful not to get it wet with rain or seawater.
- Wireless communication devices can only be used in countries or regions where authentication is obtained.
- If the earphone is placed near the microphone (sound pickup unit) during recording, a howling effect (acoustic feedback) may occur. If this happens, place the earphone further away from the microphone, or lower the volume of the earphone.
- If the power of the microphone turns off or the receiver and microphone are not connected when you start recording, noise or no sound may be recorded. Ensure that the lamps of the receiver and microphone are lit blue and connection is established, and then start recording.
- If you touch the microphone during recording, noise will be recorded. Be careful not to touch the microphone with your hands or anything else.
- When using the microphone at low temperature, the battery performance drops compared to when it is used at a normal temperature (25 ℃ (77 °F)) so the operating time becomes shorter.
- Do not expose the batteries to excessive heat such as sunshine, fire or the like.

To emit no radio waves
- In a place where the use of radio wave is prohibited, such as on board an airplane during take-off and landing, turn off the power of this unit.

On Trademarks
- The Bluetooth trademarks are owned by their proprietor and used by Sony Corporation under license.
- All other products names mentioned herein may be trademarks or registered trademarks of their respective companies. Furthermore, ™ and ® are not mentioned in each case in this manual.

Identifying the Parts (see illustration A)

Microphone (A-①)*
Receiver (A-②)*
* [MICROPHONE] and [RECEIVER] are printed on the microphone and receiver, respectively, as illustrated.

Microphone/Receiver

1 **Power switch**
To prevent battery drain, turn off the Power switch when not in use.

2 **Earphone jack**
When an earphone is connected to the earphone jack of the receiver, sound picked up by the microphone can be monitored.
When an earphone is connected to the earphone jack of the microphone, sound picked up by the receiver can be monitored.
When the supplied recording cable is connected between the earphone jack of the receiver and a microphone jack of the recording device, sound picked by the microphone can be recorded on the recording device.

3 **Lamp**
The lamp lights, blinks or goes out according to the status of the devices and communication as follows.

Status	Receiver	Microphone
Immediately after turning on the receiver and microphone	Blinks blue slowly (standby mode)	
Connection established and sound can be recorded clearly	Lights up blue	
Turning off the receiver	Goes out	Blinks blue slowly (standby mode)
Turning off the microphone	Blinks blue slowly (standby mode)	Goes out
Interrupted audio due to bad communication status	Blinks blue quickly	
When the battery is low	Blinks red Quickly replace the battery with a new one.	

4 **Internal microphone**
5 **External microphone jack**
6 **Hook for the strap**
You can attach the strap etc. (not supplied) to the microphone.
Use this as needed.
7 **Volume +/− button**
8 **Battery compartment lid**
9 **Clip**
Use this to attach the microphone to clothing or the supplied arm band.
Use this to attach the receiver to the grip belt of your camera.
The microphone/receiver can be placed on the desk, etc., using this clip as a stand.
10 **Wind screen**
Place on the microphone to reduce pop noise caused by breath or strong wind.

B Inserting a Battery

Prepare a battery (optional).
Use a size AAA alkaline dry battery or size AAA Ni-MH rechargeable battery. Sony batteries are recommended. This device may not give the best performance with batteries of other manufacturers.

1 **While pressing the bottom of the battery compartment lid ①, lift the lid and remove it ②.**
2 **Insert a battery into the compartment correctly following the polarity indication inside.**
3 **Insert the side - side of the battery compartment lid first, and then close the + side.**

Notes
Be sure to confirm the ⊕⊖ poles of the battery. Inserting the battery with the pole in the wrong direction may cause leakage or ruptures.

C Attaching the Microphone/Receiver

Attaching the microphone to clothing etc.
Attach the microphone to a breast pocket, etc. with the clip.
Attach the microphone in a position that is suitable for the recording location. To define the suitable position, connect an earphone to the receiver and monitor the sound picked up by the microphone. You can also monitor sound by connecting the receiver to the recording device with the recording cable and an earphone to the recording device. For more details on monitoring sound, see the related section below.

Notes
If you use a medical electrical device such as a pacemaker, do not attach the microphone to your clothes, such as the breast pocket or inner pocket. Using the microphone near a medical device may adversely affect it.

Using the arm band (see illustration C-①)
Attach the microphone with the clip to the arm band and then wear the arm band on your arm.

Using the earphone hanger (see illustration C-②)
If the earphone comes out too easily when used by a child or someone with small ears, try using the earphone hanger. Attach the earphone to the earphone hanger as illustrated (see illustration C-②-1).
Hang the earphone hanger arm on the ear, then adjust it to position the earphone close to your earhole. (C-②-2 in the drawing is when this is attached to the left ear.)

Attaching the receiver to the grip belt of the camera (see illustration C-③)
When using the receiver with the camera, attach it with the clip where it is visible and nothing blocks it from the microphone, such as to the grip belt of the camera, as illustrated.

Using the external microphone (sold separately)
With the power of the microphone turned off, connect the external microphone to the external microphone jack of the microphone.
The internal microphone automatically turns off and the sound picked up by the external microphone is recorded.
Use an external microphone compatible with the plug-in power. The external microphone is powered by this unit.

D Using the Wireless Microphone

Using the wireless microphone as a microphone
Before connecting the receiver to the recording device, make sure that the power switches of the receiver and recording device are set to OFF.

1 **Connect the supplied recording cable to the earphone jack of the receiver and the microphone input jack of the recording device.**
The recording cable is a non-directional cable. With a monaural recording device, sound is recorded in monaural. With a stereo recording device, the same sound is recorded in the right and left channels.
2 **Turn on the recording device and set it to standby mode.**
3 **Set the power switches of the microphone and receiver to ON.**
Immediately after they are turned on, the lamps of the two devices start slowly blinking blue, indicating that they are trying to detect, connect to, and authenticate each other. When connection is established and the recording device is ready for clear sound recording, the lamp of each device lights up blue.
4 **After checking that the lamp on the receiver is lit, start recoding on the recording device.**

Notes
- When connecting the receiver to the recording device, be sure to use the supplied recording cable. The supplied recording cable has an internal resistor for adjusting the sound level between the earphone jack and microphone input jack.
  – The earphone volume always returns to the default setting whenever the power is turned off. Only recommends that you keep the default setting for recording.
  – Use the volume +/− button to adjust the volume of the earphone directly connected to the earphone jack.
  – If you want to adjust the audio recording level, adjust it with the recording device. When adjusting the volume of the earphone connected to the recording device, adjust it with the recording device. If you change the receiver volume, the recording level also changes.
  – During recording with a camera, the confirmation beep that sounds at the start of recording may be recorded. Sony recommends that you set [BEEP] to [OFF] on your camera. For further details, refer to the operating instructions of your camera.

Using the wireless microphone as a transceiver
1 **Connect the supplied earphones to the earphone jacks of the microphone and receiver.**
2 **Set the power switches of the microphone and receiver to ON.**

Notes
- If the power of the microphone turns off or the microphone and receiver are not connected when you start recording, noise or no sound may be recorded. Ensure that the lamps of the microphone and receiver are lit blue and connection is established, and then start recording.
- The sound picked up by the receiver is not recorded.
- When the volume +/− button is pressed quickly, the level changes one step. When held down, the level continues to change. If you press the volume +/− button while recording, a clicking sound will be recorded.
-

Français

(Suite de la page avant)

Identification des éléments (Voir l'illustration A)

Microphone (A-①)*

Récepteur (A-②)*

* [MICROPHONE] et [RECEIVER] sont imprimés respectivement sur le microphone et sur le récepteur, comme indiqué sur l'illustration.

Microphone/Récepteur

1 **Interrupteur**
Pour éviter d'user la pile, coupez l'alimentation par l'interrupteur lorsque vous n'utilisez pas le microphone.

2 **Prise d'écouteur**
Lorsqu'un écouteur est raccordé à la prise d'écouteur du récepteur, le son capté par le microphone peut être contrôlé.
Lorsqu'un écouteur est raccordé à la prise d'écouteur du microphone, le son capté par le récepteur peut être contrôlé.
Lorsque le câble d'enregistrement fourni est raccordé entre la prise d'écouteur du récepteur et la prise de microphone de l'enregistreur, le son capté par le microphone peut être enregistré sur l'enregistreur.

3 **Témoin**
Le témoin s'éclaire, clignote ou s'éteint de la façon suivante selon l'état des appareils et de la communication.

État	Récepteur	Microphone
Immédiatement après la mise sous tension du récepteur et du microphone	Clignote lentement en bleu (mode d'attente)	
La connexion est établie et le son peut être enregistré nettement	S'allume en bleu	
Mise hors tension du récepteur	S'éteint	Clignote lentement en bleu (mode d'attente)
Mise hors tension du microphone	Clignote lentement en bleu (mode d'attente)	S'éteint
Interruption du son à cause d'une mauvaise communication	Clignote en bleu rapidement	
Lorsque le niveau de charge de la pile est faible	Clignote en rouge Remplacez rapidement la pile par une neuve.	

4 **Microphone interne**
5 **Prise de microphone externe**
6 **Crochet de lanière**
Vous pouvez fixer une lanière, etc. (non fournie) au microphone.
Utilisez-la si nécessaire.
7 **Bouton de volume +/–**
8 **Couvercle du logement de la pile**
9 **Clip**
Utilisez-le pour fixer le microphone à un vêtement ou au brassard fourni.
Utilisez-le pour fixer le récepteur à la sangle de votre caméra.
Le clip, qui peut être utilisé comme support, permet de poser le microphone/récepteur sur une table, etc.
10 **Bonnette antivent**
Posez-la sur le microphone pour réduire le bruit de souffle causé par la respiration ou un vent fort.

E Mise en place d'une pile

Procurez-vous une pile (en option).
Utilisez une pile sèche alcaline AAA ou une pile rechargeable Ni-MH AAA.
Les piles Sony sont recommandées. Cet appareil peut ne pas fonctionner de manière optimale avec les piles d'autres marques.

1 Tout en appuyant sur le couvercle du logement de la pile ①, soulevez le couvercle et enlevez la pile ②.
2 Insérez correctement une pile dans le logement en tenant compte de la polarité indiquée à l'intérieur.
3 Insérez le côté - du couvercle du logement de la pile, puis fermez le côté + .

Remarques
Veillez à bien orienter les pôles ⊕⊖ de la pile. L'insertion de la pile dans le mauvais sens peut entraîner une fuite ou un rupture de la pile.

C Fixation du microphone/récepteur

Fixation du microphone à un vêtement, etc.
Fixez le microphone à une poche poitrine, etc. avec le clip.
Fixez le microphone à une position adaptée au lieu où vous enregistrez.
Pour déterminer la bonne position, raccordez un écouteur au récepteur et écoutez le son capté par le microphone. Vous pouvez aussi écouter le son en raccordant le récepteur à l'enregistreur avec le câble d'enregistrement et un écouteur à l'enregistreur. Pour le détail sur le contrôle du son, reportez-vous au paragraphe suivant qui s'y rapporte.

Remarques
Si vous utilisez un appareil électrique médical, par exemple un stimulateur cardiaque, ne rattachez pas le microphone à un vêtement, par exemple à une pochette poitrine ou à une pochette intérieure. L'utilisation du microphone près d'un appareil médical peut avoir un effet nuisible.

Utilisation du brassard (voir l'illustration C-①)
Fixez le microphone avec le clip au brassard et portez le brassard au bras.

Utilisation du crochet d'oreille pour écouteur (voir l'illustration C-②)
Si l'écouteur tombe trop facilement lorsqu'il est utilisé par un enfant ou une personne ayant de petites oreilles, essayez d'utiliser le crochet d'oreille pour écouteur. Rattachez l'écouteur au crochet d'oreille pour écouteur de la façon illustrée (voir l'illustration C-②-1).
Suspendez le crochet d'oreille pour écouteur à l'oreille, puis ajustez sa position de sorte que l'écouteur soit proche de l'orifice auriculaire. (C-②-2 sur le dessin montre le crochet suspendu à l'oreille gauche.)

Fixation du récepteur à la sangle de la caméra (voir l'illustration C-③)
Lorsque vous utilisez le récepteur avec la caméra, fixez-la avec le clip à un endroit visible de sorte qu'il n'y ait pas d'obstacle entre lui et le microphone, par exemple à la sangle de la caméra, comme indiqué sur l'illustration.

Utilisation du microphone externe (vendu séparément)
Après avoir coupé l'alimentation du microphone, raccordez un microphone externe à la prise de microphone externe du microphone.
Le microphone interne se désactive automatiquement et le son capté par le microphone externe est enregistré.
Utilisez un microphone externe pouvant être alimenté par la fiche. Le microphone externe est alimenté par cet accessoire.

D Utilisation du microphone sans fil

Utilisation du microphone sans fil comme microphone
Avant de raccorder le récepteur à l'enregistreur, assurez-vous que les interrupteurs d'alimentation du récepteur et de l'enregistreur sont en position OFF.

1 Raccordez le câble d'enregistrement fourni à la prise d'écouteur du récepteur et à la prise d'entrée de microphone de l'enregistreur.
Le câble d'enregistrement est un câble non directionnel. Si l'enregistreur est monophonique, le son sera enregistré en monophonie. Si l'enregistreur est stéréophonique le son sera enregistré sur les voies droite et gauche.
2 Mettez l'enregistreur sous tension puis en mode d'attente.
3 Mettez les interrupteurs d'alimentation du microphone et du récepteur en position ON.
Immédiatement après leur mise sous tension, les témoins des deux appareils se mettent à clignoter en bleu, ce qui indique qu'ils essaient de se détecter, de se connecter et de s'authentifier. Lorsque la connexion est établie et que l'enregistreur est prêt à enregistrer un son net, le témoin de chaque appareil s'allume en bleu.
4 Après avoir vérifié que le témoin sur le récepteur était éclairé, procédez à l'enregistrement sur l'enregistreur.

Remarques
– Lorsque vous raccordez le récepteur à l'enregistreur, veillez à utiliser le câble d'enregistrement fourni. Le câble d'enregistrement fourni a une résistance interne pour le réglage du niveau sonore entre la prise d'écouteur et la prise d'entrée de microphone.
– Le volume de l'écouteur revient toujours à son réglage par défaut lorsque l'alimentation est coupée. Sony recommande d'utiliser le réglage par défaut pour l'enregistrement.
– Utilisez la touche de volume +/– pour régler le volume de l'écouteur directement raccordé à la prise d'écouteur.
– Si vous voulez régler le niveau d'enregistrement audio, faites-le sur l'enregistreur. Lorsque vous réglez le volume de l'écouteur raccordé à l'enregistreur, faites-le sur l'enregistreur. Si vous changez le volume de l'écouteur, le niveau d'enregistrement changera également.
– Pendant l'enregistrement avec une caméra, le bip de confirmation qui retentit au début de l'enregistrement peut être enregistré. Sony recommande de régler [BEEP] sur [OFF] sur votre caméra. Pour tous les détails, reportez-vous au mode d'emploi de votre caméra.

Utilisation du microphone sans fil comme émetteur/récepteur

1 Raccordez les écouteurs fournis aux prises d'écouteur du microphone et du récepteur.
2 Mettez les interrupteurs d'alimentation du microphone et du récepteur en position ON.

Remarques
- Si l'alimentation du microphone est coupée ou si le microphone et le récepteur ne sont pas raccordés au début de l'enregistrement, du bruit ou aucun son risque d'être enregistré. Assurez-vous que les témoins du microphone et du récepteur sont éclairés en bleu et que la connexion est établie, puis procédez à l'enregistrement.
- Le son capté par le récepteur n'est pas enregistré.
- Lorsque vous appuyez brièvement sur la touche de volume +/–, le niveau change d'un incrément. Lorsque vous maintenez la touche enfoncée, le niveau change en continu. Si vous appuyez sur la touche de volume +/– pendant l'enregistrement, un cliquetis sera enregistré.
- Sony recommande de mettre le récepteur hors service lorsqu'il n'est pas utilisé pour l'enregistrement.
- Le témoin et cet appareil peuvent s'éteindre un certain temps après le réglage de l'interrupteur d'alimentation sur OFF. Il ne s'agit pas d'une défectuosité.
- Le microphone sans fil traite et transmet le son numériquement, ce qui résulte en un léger décalage entre le son réel et le son enregistré (contrôlé). C'est pourquoi, lorsque vous l'écoutez par l'écouteur, un effet d'écho peut être audible. De même, si vous regardez des images avec le son enregistré par le microphone sans fil, cet effet de retard peut être perceptible. Toutefois, il ne s'agit pas d'une défectuosité.
- Réglez le niveau d'enregistrement audio sur l'enregistreur ou bien en changeant la distance entre le sujet et le microphone.
- Lorsque la charge de la pile est faible, le témoin peut clignoter de manière irrégulière et le microphone et le récepteur peuvent ne pas communiquer entre eux. Il ne s'agit pas d'une défectuosité. Remplacez les piles par des neuves.
- Sony ne peut être tenu pour responsable si un enregistrement audio ne peut être réalisé correctement à la suite d'une panne de ce produit.

En cas de problème

□ **Le microphone et le récepteur ne peuvent pas se connecter par Bluetooth.**
→ Cet accessoire se connecte par les ondes radio. Assurez-vous qu'il n'y a pas d'objets bloquant les ondes radio autour de cet accessoire.
→ Rapprochez le microphone et le récepteur.
→ Mettez le microphone à la verticale.

Spécifications

Système de communication	Spécification Bluetooth Ver. 3.0
Sortie	Spécifications Bluetooth Power Class 1
Profil Bluetooth principal compatible	
	Profil de distribution audio avancée
Plage d'action*	Jusqu'à 50 m (150 pieds)
Système de microphone	Non directionnel
Alimentation	Une pile sèche alcaline AAA de 1,5 V** ou une pile Ni-MH AAA de 1,2 V**
Consommation	Environ 0,3 W
Réponse en fréquence	300 Hz - 9 000 Hz (Récepteur)
Autonomie en fonctionnement continu	Environ 3 heures***
Dimensions (Environ) (l/h/p)	19 mm × 66 mm × 30 mm (3/4 po. × 2 5/8 po. × 1 3/16 po.)
Poids	Environ 19 g (0,7 oz) (sans la pile)
Température de fonctionnement	5 °C à 40 °C (41 °F à 104 °F)
Température d'entreposage	-20 °C à +60 °C (-4 °F à +140 °F)

* Distance de communication approximative sans obstacle entre le microphone et le récepteur.
Selon le lieu où l'enregistrement est effectué, par exemple s'il y a des obstacles ou des surfaces réfléchissantes entre les appareils Bluetooth, des ondes radio, etc.
** Pile non fournie. Une pile sèche au manganèse devrait être utilisée.
*** Avec un pile sèche alcaline Sony à 25 °C (77 °F)
À basse température, le temps de fonctionnement avec un pile sèche alcaline sera inférieur. L'emploi de piles rechargeables Ni-MH est recommandé.

Articles inclus
Microphone (émetteur) (ECM-AW4(T)) (1), Récepteur (ECM-AW4(R)) (1), Câble d'enregistrement (1), Bonnette antivent (1), Pochette de transport (1), Brassard (1), Ecouteur (2), Crochet d'oreille pour écouteur (1), Jeu de documents imprimés

La conception et les spécifications peuvent être modifiées sans préavis.

Español

Antes de poner en funcionamiento esta unidad, lea detalladamente todo este manual y guárdelo para poderlo consultar en el futuro.

Nombre del producto: Micrófono inalámbrico
Modelo: ECM-AW4

POR FAVOR LEA DETALLADAMENTE ESTE MANUAL DE INSTRUCCIONES ANTES DE CONECTAR Y OPERAR ESTE EQUIPO.
RECUERDE QUE UN MAL USO DE SU APARATO PODRÍA ANULAR LA GARANTÍA.

Precauciones

- La placa de características está debajo de la presilla del micrófono.

AVISO

Para reducir el riesgo de incendios o descargas eléctricas,
1) no exponga la unidad a la lluvia o la humedad.
2) no coloque sobre el aparato objetos que contengan líquidos como, por ejemplo, jarrones.

No exponga las pilas a fuentes de calor excesivo, como la luz solar directa, el fuego o similares.

PRECAUCIÓN

Un exceso de presión sonora de los auriculares puede ocasionar la pérdida de la capacidad auditiva.

Información sobre normativas

Países y regiones
Este producto puede utilizarse en el país o la región de adquisición.
Este dispositivo está aprobado para el país o la región de uso previsto. La utilización de este dispositivo con la etiqueta de aprobación quitada puede ser punible por la ley.

Sustituya la batería únicamente por otra del tipo especificado.
De lo contrario, es posible que se produzcan incendios o lesiones.

AVISO IMPORTANTE PARA MÉXICO
La operación de este equipo está sujeta a las siguientes dos condiciones: (1) es posible que este equipo o dispositivo no cause interferencia perjudicial y (2) este equipo o dispositivo debe aceptar cualquier interferencia, incluyendo la que pueda causar su operación no deseada.
Para consultar la información relacionada al número del certificado, refiérase a la etiqueta del empaque y/o del producto.

Para los clientes en Europa

Consulte el otro manual de instrucciones.

Por medio de la presente Sony Corporation declara que este micrófono inalámbrico ECM-AW4 cumple con los requisitos esenciales y cualesquiera otras disposiciones aplicables o exigibles de la Directiva 1999/5/CE. Para mayor información, por favor consulte la siguiente URL:
http://www.compliance.sony.de/

CE

Tratamiento de los equipos eléctricos y electrónicos al final de su vida útil (aplicable en la Unión Europea y en países europeos con sistemas de tratamiento selectivode residuos)
Este símbolo en el equipo o en su embalaje indica que el presente producto no puede ser tratado como residuos domésticо normal. Debe entregarse en el correspondiente punto de recogida de equipos eléctricos y electrónicos. Al asegurarse de que este producto se desecha correctamente, usted ayuda a prevenir las consecuencias potencialmente negativas para el medio ambiente y la salud humana que podrían derivarse de la incorrecta manipulación en el momento de desharcerse de este producto. El reciclaje de materiales ayuda a conservar los recursos naturales. Para recibir información detallada sobre el reciclaje de este producto, póngase en contacto con el ayuntamiento, el punto de recogida más cercano o el establecimiento donde ha adquirido el producto.

< Aviso para los clientes de países en los que se aplican las directivas de la UE >
Fabricante: Sony Corporation, 1-7-1 Konan Minato-ku Tokyo, 108-0075 Japón
Para la conformidad del producto en la UE: Sony Deutschland GmbH, Hedelfinger Strasse 61, 70327 Stuttgart, Alemania

Atención
Los campos electromagnéticos a frecuencias específicas podrán influir en la imagen y el sonido de esta unidad.

Este producto ha sido probado y cumple con los límites establecidos en el Reglamento de EMC para el uso de cables de conexión de menos de 3 metros de longitud.

Si la electricidad estática o el electromagnetismo interrumpen la transmisión de datos (fallo), reinicie la aplicación o desconecte el cable de comunicación (USB, etc.) y vuelva a conectarlo.

Características

- Este micrófono inalámbrico ha sido diseñado para utilizarse con un dispositivo de grabación, como una cámara o una grabadora de IC con una toma de entrada para micrófono para grabar claramente sonido en monoaural incluso cuando la fuente de sonido esté alejada del dispositivo de grabación.
- Tanto en el micrófono (transmisor, a partir de ahora "micrófono") como en el receptor conectado al dispositivo de grabación existen tomas para unidades de micrófono y auriculares. Cuando se conecte auriculares tanto al micrófono como al dispositivo de grabación, una persona en el lado del micrófono y otra persona en el lado del receptor podrán escuchar el sonido o la voz del otro lado incluso aunque se encuentren alejadas entre sí. El sonido captado por el micrófono podrá grabarse en el dispositivo de grabación. (El sonido del receptor no podrá grabarse. Si el dispositivo de grabación no posee auriculares ni toma para auriculares, la persona del lado del receptor no podrá oír la voz del otro lado durante la grabación.)
- Este micrófono inalámbrico podrá utilizarse como transceptor, de forma que el sonido de cualquier extremo podrá escucharse en el otro extremo a través de auriculares directamente conectados a las tomas para auriculares tanto del micrófono como del receptor.
- Este micrófono inalámbrico utiliza la tecnología de comunicación inalámbrica Bluetooth.

Tecnología de comunicación inalámbrica Bluetooth®

- La tecnología de comunicación inalámbrica Bluetooth permite la comunicación entre varios dispositivos Bluetooth sin utilizar cables. Los dispositivos que pueden utilizar esta tecnología incluyen ordenadores, periféricos de ordenador y smartphones.
- El receptor y el micrófono vienen configurados de fábrica para comunicarse entre sí. Por lo tanto, las operaciones generalmente requeridas para dispositivos Bluetooth como emparejamiento e introducción de clave de acceso no son necesarias. La comunicación no será posible con un receptor y un micrófono que no se vendan como un par, múltiples micrófonos, ni con cualquier otro dispositivo Bluetooth, tal como un smartphone, ordenador, etc.

Notas
- Este micrófono inalámbrico puede verse afectado en las condiciones siguientes.
  – Cuando haya obstáculos tales como personas, objetos metálicos, paredes, o superficies reflectantes entre la parte frontal del receptor y el micrófono.
  – Cuando se utilice en un entorno de sistema de LAN inalámbrica, cerca de múltiples dispositivos Bluetooth que estén operando, cerca de un horno de microondas en funcionamiento, o donde se haya ondas electromagnéticas.
- Si el micrófono se coloca en las proximidades de la cámara, es posible que se grabe también interferencia de RF o ruido. Mantenga el micrófono a 1 m por lo menos de la cámara durante su utilización.
- Si hay ruido o si no hay sonido debido al deterioro de la comunicación, la lámpara del receptor parpadeará rápidamente en azul. Cerciórese de que la distancia entre los dispositivos no sea demasiada, y de que no haya obstáculos entre ellos. Continúe utilizando mientras la lámpara permanezca constantemente encendida en azul.

Notas sobre la utilización

- No permita que dentro de la caja entre ningún líquido ni objeto extraño.
- No desarme ni modifique el micrófono inalámbrico.
- No utilice este micrófono inalámbrico en una institución médica como un hospital, cerca de un dispositivo médico eléctrico, en un avión, o si se produce interferencia de radio con otro(s) dispositivo(s). La energía de RF emitida por este micrófono inalámbrico puede interferir con otros dispositivos, y resultar en un accidente.
- Esta unidad es un instrumento de precisión. No la deje caer, no la golpee, ni la someta a golpes excesivos.
- Mantenga esta unidad alejada de temperatura y humedad altas.
- Cuando utilice esta unidad en exteriores, tenga cuidado de que no se humedezca con la lluvia ni con el agua del mar.
- Los dispositivos de comunicación inalámbrica solamente podrán utilizarse en países o regiones donde se obtenga autenticación.
- Si los auriculares se colocan cerca del micrófono (unidad de captación de sonido) durante la grabación, se puede producir un efecto de aullido (realimentación acústica). Si esto sucede, aleje los auriculares del micrófono, o reduzca el volumen de los auriculares.
- Si la alimentación del micrófono se desconecta, o el receptor y el micrófono no están conectados cuando inicie la grabación, es posible que se grabe ruido o que no se grabe sonido. Cerciórese de que las lámparas del receptor y del micrófono estén encendidas en azul, y de que se haya establecido la conexión, y después inicie la grabación.
- Si toca el micrófono durante la grabación, se grabará ruido. Tenga cuidado para no tocar el micrófono con sus manos ni con ninguna otra cosa.
- Cuando se utilice el micrófono a baja temperatura, el rendimiento de la pila/batería caerá en comparación a cuando se utilice a una temperatura normal (25 °C) por lo que el tiempo de funcionamiento se acortará.
- No exponga las pilas/baterías a fuentes de calor excesivo, como la luz solar directa, el fuego o similares.

Para no emitir ondas de radio
- En un lugar donde esté prohibido el uso de ondas de radio, como a bordo de un avión durante el despegue y el aterrizaje, desconecte la alimentación de esta unidad.

Acerca de las marcas comerciales y registradas
- Las marcas comerciales Bluetooth pertenecen a su propietario y Sony Corporation las utiliza bajo licencia.
- Todos los demás nombres de productos mencionados aquí pueden ser marcas comerciales o registradas de sus respectivas compañías. Además, ™ y ® no se mencionan en cada caso en este manual.

Identificación de partes (consulte la ilustración A)

Micrófono (A-①)*

Receptor (A-②)*

* [MICROPHONE] y [RECEIVER] están impresos en el micrófono y el receptor, respectivamente, como se muestra en la ilustración.

Micrófono/Receptor

1 **Interruptor de alimentación**
Para evitar la descarga de la pila/batería, desconecte la alimentación cuando no utilice el dispositivo.

2 **Toma para auriculares**
Cuando conecte unos auriculares a la toma para auriculares del receptor, el sonido captado por el micrófono podrá escucharse.
Cuando conecte unos auriculares a la toma para auriculares del micrófono, el sonido captado por el receptor podrá escucharse.
Cuando conecte el cable para grabación entre la toma para auriculares del receptor y una toma para micrófono del dispositivo de grabación, el sonido captado por el micrófono podrá grabarse en el dispositivo de grabación.

3 **Lámpara**
La lámpara se encenderá, parpadeará, o se apagará de acuerdo con el estado de los dispositivos y la comunicación de la forma siguiente.

Estado	Receptor	Micrófono
Inmediatamente después de conectar la alimentación del receptor y del micrófono.	Parpadeando lentamente en azul (modo de espera)	
Conexión establecida y el sonido puede grabarse claramente	Encendida en azul	
Desconexión de la alimentación del receptor	Apagada	Parpadeando lentamente en azul (modo de espera)
Desconexión de la alimentación del micrófono	Parpadeando lentamente en azul (modo de espera)	Apagada
Audio interrumpido debido al mal estado de la comunicación	Parpadeando rápidamente en azul	
Cuando la pila/batería está baja	Parpadeando en rojo Reemplace rápidamente la pila/batería por otra nueva.	

4 **Micrófono interno**
5 **Toma paras micrófono externo**
6 **Gancho para correa**
Usted podrá fijar una correa (no suministrada), etc. al micrófono.
Utilícelo en la forma necesaria.
7 **Botón de volumen +/–**
8 **Tapa del compartimiento de la pila/batería**
9 **Presilla**
Utilícela para fijar el micrófono a su ropa o a la correa para colgar en el brazo suministrada.
Utilícela para fijar el receptor a la correa de la empuñadura de su cámara.
El micrófono/receptor podrá colocarse sobre una mesa, etc., utilizando la presilla como soporte.
10 **Parabrisas**
Colóquelo en el micrófono a fin de reducir el ruido causado por la respiración o viento fuerte.

B Inserción de una pila/batería

Prepare una pila/batería (opcional).
Utilice una pila alcalina de tamaño AAA o una batería de Ni-MH de tamaño AAA.
Se recomienda utilizar pilas o baterías Sony. Este dispositivo puede no ofrecer el máximo rendimiento con pilas o baterías de otros fabricantes.

1 Manteniendo presionada la parte inferior de la tapa del compartimiento de la pila/batería ①, levante la tapa y quítela ②.
2 Inserte correctamente una pila/batería en el compartimiento siguiendo la indicación de polaridad del interior del mismo.
3 Inserte en primer lugar el lado - de la tapa del compartimiento de la pila/batería, y después cierre el lado + .

Notas
Cerciórese de confirmar los polos ⊕⊖ de la pila/batería. La inserción de la pila/batería con los polos erróneamente orientados podría causar la fuga del electrolito o rupturas.

C Fijación del micrófono/receptor

Fijación del micrófono a su vestido, etc.
Fije el micrófono a un bolsillo de pecho, etc., con la presilla.
Fije el micrófono en una posición adecuada al lugar de grabación.
Para definir la posición adecuada, conecte unos auriculares al receptor y escuche el sonido captado por el micrófono. Usted también podrá escuchar el sonido conectando el receptor al dispositivo de grabación con un cable para grabación y unos auriculares al dispositivo de grabación. Con respecto a los detalles sobre la escucha de sonido, consulte la sección correspondiente de abajo.

Notas
Si utiliza un dispositivo médico eléctrico, como un cuentapasos, no fije el micrófono a su vestido, como a un bolsillo de pecho o a un bolsillo interior. La utilización del micrófono cerca de un dispositivo médico podría afectarlo adversamente.

Utilización de la correa para colgar en el brazo (consulte la ilustración C-①)
Fije el micrófono con la paresilla a la correa para colgar en el brazo y después colóquese la correa para colgar en el brazo en su brazo.

Utilización del gancho auricular (consulte la ilustración C-②)
Si los auriculares se salen con demasiada facilidad cuando los utilice un niño o alguien con orejas pequeñas, pruebe utilizando el gancho auricular. Fije los auriculares al gancho auricular como se muestra en la ilustración (consulte la ilustración C-②-1).
Cuelgue el brazo del gancho auricular en la oreja, y después ajústelo a la posición de los auriculares cerca del orificio de su oreja. (C-②-2 de las ilustraciones es cuando está fijado a la oreja izquierda.)

Fijación del receptor a la correa de la empuñadura de la cámara (consulte la ilustración C-③)
Cuando utilice el receptor con la cámara, fíjelo con la presilla donde quede visible y no haya nada que lo bloquee del micrófono, como en la correa de la empuñadura de la cámara, como se muestra en la ilustración.

Utilización de un micrófono externo (vendido por separado)
Con la alimentación del micrófono desconectada, conecte el micrófono externo al la toma para micrófono del micrófono.
La alimentación del micrófono interno se desconectará automáticamente y se grabará el sonido captado por el micrófono externo.
Utilice un micrófono externo compatible con alimentación a través de la clavija. Esta unidad alimentará el micrófono externo.

D Utilización del micrófono inalámbrico

Utilización del micrófono inalámbrico como micrófono
Antes de conectar el receptor al dispositivo de grabación, cerciórese de que los interruptores de alimentación del receptor y del dispositivo de grabación estén en OFF.

1 Conecte el cable para grabación suministrado a la toma para auriculares del receptor y a la toma de entrada para micrófono del dispositivo de grabación.
El cable para grabación es un cable no direccional. Con un dispositivo de grabación monoaural, el sonido se grabará en monoaural. Con un dispositivo de grabación estéreo, el sonido se grabará en los canales derecho e izquierdo.
2 Encienda el dispositivo de grabación y póngalo en el modo de espera.
3 Ponga los interruptores de alimentación del micrófono y del receptor en ON.
Inmediatamente después del encendido, las lámparas de los dos dispositivos comenzarán a parpadear lentamente en azul, indicando que están tratando de detectar, conectarse a, y autenticarse entre sí. Cuando se establezca la conexión y el dispositivo de grabación esté listo para grabar sonido claro, la lámpara de cada dispositivo se encenderá en azul.
4 Después de comprobar que la lámpara del receptor esté encendida, inicie la grabación en el dispositivo de grabación.

Notas
– Cuando conecte el receptor al dispositivo de grabación, cerciórese de utilizar el cable para grabación suministrado. El cable para grabación suministrado posee un resistor interno para ajustar el nivel del sonido entre la toma para auriculares y la toma de entrada para micrófono.
– El volumen de los auriculares volverá siempre al ajuste predeterminado cada vez que se desconecte la alimentación. Sony recomienda mantener el ajuste predeterminado para la grabación.
– Utilice el botón de ajuste del volumen +/– para ajustar el volumen de los auriculares directamente conectados a la toma para auriculares.
– Si desea ajustar el nivel de grabación de audio, hágalo con el dispositivo de grabación. Cuando ajuste el volumen de los auriculares conectados al dispositivo de grabación, hágalo con el el dispositivo de grabación. Si cambia el volumen del receptor, el nivel de grabación también cambiará.
– Durante la grabación con una cámara, es posible que se grabe el pitido de confirmación que suena al comienzo de la grabación. Sony recomienda ajustar [BEEP] a [OFF] en su cámara. Para más detalles, consulte el manual de instrucciones de su cámara.

Utilización del micrófono inalámbrico como transceptor

1 Conecte los auriculares suministrados a las tomas para auriculares del micrófono y del receptor.
2 Ponga los interruptores de alimentación del micrófono y del receptor en ON.

Notas
- Si la alimentación del micrófono se desconecta o el micrófono y el receptor no están conectados cuando inicie la grabación, es posible que se grabe ruido o que no se grabe sonido. Cerciórese de que las lámparas del micrófono y del receptor estén encendidas en azul y de que se haya establecido la conexión, y después inicie la grabación.
- El sonido captado por el receptor no se grabará.
- Si pulsa rápidamente el botón de volumen +/– , el nivel cambiará un paso. Si lo mantiene pulsado, el nivel continuará cambiando. Si pulsa el botón de volumen +/- durante la grabación, se grabará un sonido de chasquido.
- Sony recomienda apagar el receptor cuando no se vaya a utilizar para grabación.
- Es posible que la lámpara y esta unidad tarden cierto tiempo en apagarse después de haber puesto el interruptor de alimentación en OFF. Esto no significa mal funcionamiento.
- Este micrófono inalámbrico procesa y transmite digitalmente el sonido, lo que resulta en un ligero desfase entre el sonido real y el sonido grabado (escuchado). Como resultado, cuando escuche a través de los auriculares, es posible que se escuche un efecto de eco. De forma similar, la contemplación de imágenes con sonido grabado con este micrófono inalámbrico puede visualizar este efecto de retardo. Sin embargo, esto no significa mal funcionamiento.
- Ajuste el nivel de grabación de audio con el dispositivo de grabación o cambiando la distancia entre el motivo y el micrófono.
- Cuando la carga restante de la pila/batería sea baja, la lámpara puede parpadear irregularmente, y es posible que el micrófono y el receptor no puedan no comunicarse entre sí. Esto no significa mal funcionamiento. Reemplace las pilas/baterías por otras nuevas.
- Sony no se hará responsable por ningún fallo en la grabación apropiada de audio debido a un problema con este producto.

Solución de problemas

□ **El micrófono y el receptor no pueden conectarse mediante Bluetooth.**
→ Esta unidad se conecta a través de ondas de radio. Cerciórese de que no haya objetos alrededor de esta unidad que puedan bloquear las ondas de radio.
→ Utilice el micrófono y el receptor juntos entre sí.
→ Utilice el micrófono en posición vertical.

Especificaciones

Sistema de comunicación	Especificación Bluetooth Ver. 3.0
Salida	Especificación Bluetooth Clase de potencia 1
Perfil principal compatible con Bluetooth	
	Perfil de distribución de audio avanzado
Alcance de trabajo*	Hasta 50 m
Sistema de micrófono	No direccional
Requisitos de alimentación	Una pila alcalina de tamaño AAA de cc 1,5 V** o una batería de Ni-MH de tamaño AAA de cc 1,2 V**
Consumo de energía	Aprox. 0,3 W
Respuesta en frecuencia	300 Hz - 9 000 Hz (Receptor)
Tiempo de funcionamiento continuo	Aprox. 3 horas***
Dimensiones (Aprox.) (an/al/prf)	19 mm × 66 mm × 30 mm
Peso	Aprox. 19 g (excluyendo la pila/batería)
Temperatura de funcionamiento	5 °C a 40 °C
Temperatura de almacenamiento	–20 °C a +60 °C

* Ésta es la distancia de comunicación aproximada con una vista sin obstrucción entre el micrófono y el receptor.
Dependiendo del lugar de grabación, si hay obstáculos o superficies reflectoras entre los dispositivos Bluetooth, las condiciones de las ondas radioeléctricas, etc.
** Pila no incluida. No deberá utilizarse una pila de manganeso.
*** Con una pila alcalina Sony a 25 °C
Cuando se utilice a baja temperatura, el tiempo de funcionamiento con una pila alcalina se acortará. Se recomienda utilizar una batería de Ni-MH.

Elementos incluidos
Micrófono (transmisor) (ECM-AW4(T)) (1), Receptor (ECM-AW4(R)) (1), Cable para grabación (1), Parabrisas (1), Bolsillo (1), Correa para colgar en el brazo (1), Auriculares (2), Gancho auricular (1), Juego de documentación impresa

El diseño y las especificaciones están sujetos a cambio sin previo aviso.

中文（简）

操作本装置之前，请仔细阅读本手册并妥善保管，以备今后参考。

使用须知

- 铭牌位于麦克风夹子的下面。

警告

为减少发生火灾或触电的危险，请勿让本装置淋雨或受潮。
为减少火灾或触电的危险，请勿在本装置上放置如花瓶等盛有液体的物体。

切勿将电池暴露在阳光、火或类似的极热环境下。

■使用频率：2.4 - 2.4835 GHz
■等效全向辐射功率(EIRP)：
■天线增益＜10dBi时：≤100 mW或≤20 dBm
■最大功率谱密度：
天线增益＜10dBi时：≤10 dBm/MHz（EIRP）
■载频容限：20 ppm

不得擅自更改发射频率、加大发射功率(包括额外加装射频功率放大器)，不得擅自外接天线或改用其它发射天线。
使用时不得对各种合法的无线电通信业务产生有害干扰；一旦发现有干扰现象时，应立即停止使用，并采取措施消除干扰后方可继续使用。
使用微功率无线电设备，必须忍受各种无线电业务的干扰或工业、科学及医疗应用设备的辐射干扰。
不得在飞机和机场附近使用。

注意

太大的耳机声压会损害听力。

规章信息

国家和地区
本产品可在购买地所在的国家或地区使用。
本设备已获准在意向的国家或地区使用。 如果在使用本设备时将所贴的核准标签撕下，可能会遭到法律惩处。

请只使用指定类型的电池进行更换。
否则，可能造成着火或人员受伤。

请参阅其他使用说明书。

注意
特定频率的电磁场可能会影响此设备的图像和声音。

本产品已经过测定并确定符合EMC指示中所提出的使用不超过3米的连接电缆的限制。

如果静电或电磁导致数据传送中断（失败），请重新启动应用程序或断开连接，并重新连接通信电缆（USB 等）。

特点

- 本无线麦克风设计用于带有麦克风输入插孔的记录设备，如摄像机或录音笔。由此，即使声源距离记录设备较远，也能清晰地录制单声道声音。
- 麦克风（发送器，以下简称“麦克风”）及记录设备所连的接收器上都配备了麦克风单元和耳机插孔。 当耳机同时连接在麦克风和记录设备上时，即使位于麦克风一侧的人和位于接收器一侧的人相隔较远，他们也能听到另一侧的声音。 麦克风所拾取的声音可录制到记录设备上（无法录制接收器的声音。如果记录设备上没有头戴式耳机或耳机插孔，则位于接收器一侧的人在录制过程中将听不到另一侧的声音）。
- 本无线麦克风还可用作对讲机，这样，借助于直接连接在耳机插孔（包括麦克风和接收器）上的耳机，即可对另一侧的声音进行监听。
- 本款无线麦克风采用 Bluetooth 无线通讯技术。

Bluetooth® 无线通讯技术

- Bluetooth 无线通讯技术允许各种 Bluetooth 设备在不使用连接线的情况下进行相互通讯。 可以使用此项技术的设备包括计算机、计算机外围设备和智能手机。
- 本接收器和麦克风在出厂时设定为相互通讯，因此不需要执行通常 Bluetooth 设备所需要进行的操作，如配对和输入密码。 接收器与非配对出售的麦克风、多个麦克风或其他任何 Bluetooth 设备（如智能手机、计算机等）之间无法通讯。

注意
- 本款无线麦克风可能会受到以下条件的影响。
  – 当接收器与麦克风之间有障碍物，如人、金属物、墙壁或反射性表面。
  – 在以下场所使用：有无线 LAN 系统的环境中，多个正在操作中的 Bluetooth 设备附近，正在使用的微波炉旁，发射电磁波的地方。
- 如果麦克风放置在相机/摄像机旁，则可能会记录下 RF 干扰或噪音。 使用时，麦克风与相机/摄像机至少应保持 1 m 的距离。
- 如果因通讯能力下降产生噪音或没有声音，接收器上的指示灯将以蓝色快速闪烁。 确保设备之间的距离不要太大，且相互之间没有障碍物。 当指示灯以蓝色稳定点亮时即可继续使用。

使用须知

- 切勿让任何液体或异物进入机体内。
- 切勿分解或改装无线麦克风。
- 切勿在医疗机构内使用本无线麦克风，如医院、电子医疗设备旁、飞行器中，或有发生无线电干扰其他设备的情况。 从本无线麦克风发射出的 RF 能量可能会干扰其他设备，从而导致意外事故。
- 本装置属精密设备。 请勿使其摔落、遭到撞击或受到过大震动。
- 请将本装置远离高温和潮湿。
- 在外面使用本装置时，小心不要让雨水或海水将其打湿。
- 无线通讯设备只能在获得了验证的国家或地区使用。
- 如果在录音过程中将耳机放置在麦克风（声音拾取单元）旁，则可能会产生嘶叫效果（声反馈）。 如果发生此情况，请将耳机放在距离麦克风更远处，或减小耳机音量。
- 如果关闭了麦克风电源或在开始录制时未连接接收器和麦克风，则会记录到噪音或者没有声音。 确保接收器和麦克风上的指示灯均以蓝色点亮，并已建立连接，然后开始录音。
- 如果在录